

共に響き合う、京響

City of Kyoto Symphony Orchestra

70th Anniversary 京響



Soprano: Brigitte Geller
ソプラノ
ブリギッテ・ゲラー

Counter-tenor: Daichi Fujita
カウンターテナー
藤木 大地

Tenor: Yusuke Kohori
テノール
小堀 勇介

Bass: Hibiki Ikeuchi
バリトン
池内 響

京都市交響楽団

特別演奏会

第九

コンサート

第九に阪哲朗が登場！

指揮 Conductor
阪 哲朗
Tetsuro Ban
©Florian Hammerich

合唱 Chorus
京響コーラス
Kyoto Symphony Chorus

京響と共に

年の瀬の特別な時間を



ベートーヴェン：交響曲 第9番 ニ短調 op. 125 「合唱つき」 Beethoven: Symphony No. 9 in D minor op. 125 "Choral"

The Special Concert of the City of Kyoto Symphony Orchestra "The 9th Symphony of Beethoven"

2026

12.25

午後7:00開演
(午後6:00開場)

Fri, December 25, 2026 / 7:00PM

12.26

午後2:30開演
(午後1:30開場)

Sat, December 26, 2026 / 2:30PM

京都コンサートホール
大ホール Kyoto Concert Hall (Main Hall)

京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、
出口1・3番から南へ徒歩約5分

入場料 2026 9/18 から発売

¥ 6,000円 A ¥ 5,500円 B ¥ 4,500円 C ¥ 3,500円 D ¥ 3,000円
(舞台後方席)

U30 前売 [一般発売に併せて販売] ¥ 2,500円 A ¥ 2,000円 B ¥ 1,500円

※チケット購入時点で30歳以下のお客様が対象。ご入場の際に年齢の確認ができる証明書のご提示をお願いする場合がございますので必ずご携帯ください。
※オンラインチケット <https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/> で販売 (チケットカウンター、チケットひあ、ローソンチケットではお買い求めいただけません)。※販売席数は限定。

U30 当日 [当日残席がある場合のみ発売]

¥ 2,500円 A ¥ 2,000円 B ¥ 1,500円 C ¥ 1,000円 D ¥ 1,000円

※チケット購入時点で30歳以下のお客様が対象。ご購入の際には年齢の確認ができる証明書のご提示が必要となります。
※開演1時間前から発売 (当日券売場にてお買い求めください)。電話や窓口での事前予約はできません。席種は違いますが、座席指定はできません。

◎未就学のお子様のご入場はお断りいたします。◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。

お問い合わせ 京都市交響楽団 075-222-0347 <https://www.kyoto-symphony.jp/> →
京都コンサートホール 075-711-3231 <https://www.kyotoconcerthall.org/>

チケットご予約

- 京都コンサートホール 075-711-3231
- ロームシアター京都 075-746-3201
- 24時間オンラインチケット購入
<https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>
- チケットぴあ <https://t.pia.jp/> Pコード 308-605
- ローソンチケット <https://l-tike.com/> Lコード 57872

- ◆1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約・定員10名)をご利用ください。(お子様お1人につき1,000円/2026年12月18日までに京響075-222-0347へお申込みください)
- ◆10枚以上のチケットお申込みには団体割引 (10%OFF) があります。京響075-222-0347までお問い合わせください。
- ◆障がいのある方ご本人及び介助の方1名に限り1割引いたします。京都コンサートホール・ロームシアター京都のみで取扱います (窓口で手帳等の証明書をご提示ください)。



主催：京都市交響楽団 (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市
協力：株式会社ドルチェ楽器 後援：(株)エフエム京都

協賛：ローム株式会社、介護付有料老人ホーム 京都ヴィラ、スターツグループ

発行：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた
音楽との出会いをお届けします。

ROHM
SEMICONDUCTOR

京都市交響楽団

特別演奏会

第九

コンサート

年末恒例の第九コンサート。指揮を務めるのは、びわ湖ホールでも京響と共に数々の名演を繰り広げている阪哲朗です。4人のソリストと京響コーラスが高らかに歌いあげる「歓喜の歌」で、特別な1年の締めくくりをお過ごしください。

指揮 阪 哲朗

Conductor: Tetsuro Ban

京都市立芸術大学作曲専修を卒業後に渡欧。ウィーン国立音楽大学指揮科在学中よりビール市立歌劇場専属指揮者を務める。これまでに、ブランドンブルク歌劇場専属第1指揮者、ベルリン・コーミッシェ・オーパー専属指揮者、アイゼナハ歌劇場音楽総監督、山形交響楽団首席客演指揮者、レーゲンスブルク歌劇場音楽総監督を歴任。おもにドイツ、オーストリア、スイスなどで約40に及ぶオーケストラ、歌劇場に招かれて成功を収めている。ベルリン・コーミッシェ・オーパーでは、約20演目170回余を指揮。また、ウィーン・フォルクスオーパーでは、同劇場のハイライトとも言える『こうもり』を指揮して好評を博した。オーストリアのレヒ音楽祭には毎年招かれている。日本国内においても、多くのオーケストラ公演やオペラ公演を指揮。全国共同制作オペラ・野村萬斎新演出『こうもり』、びわ湖ホール・中村敬一演出『ばらの騎士』、栗山昌良演出『死の都』、栗園淳演出『トゥランドット』で成功を収めたことが記憶に新しい。一方、山形交響楽団とは2023年から演奏会形式オペラシリーズをスタートさせ、インターネットでの配信も行い、新たなファンを獲得している。現在、山形交響楽団常任指揮者、びわ湖ホール芸術監督、京都市立芸術大学音楽学部指揮専攻教授を務め、東京藝術大学や国立音楽大学より特別招聘教授に招かれるなど、後進の指導にも取り組んでいる。1995年ブザンソン国際指揮者コンクール優勝。2024年芸術選奨文部科学大臣賞ほか受賞多数。



©TAKASHI IMAI

The Special Concert of the City of Kyoto Symphony Orchestra “The 9th Symphony of Beethoven”

ブリギッテ・ゲラー

ソプラノ Soprano: Brigitte Geller

スイス出身。フルートと歌を学び、チューリヒ歌劇場のインターナショナル・オペラ・スタジオで研鑽を積んだ後、歌手としてのキャリアをスタートさせた。ハイデルベルク劇場、ベルリン・コーミッシェ・オーパーのメンバーをつとめたほか、フェニーチェ劇場、ベルリン国立歌劇場、ゼンパーオーパー ドレスデン、ミュンヘン・ガスタイク、フランクフルト、チューリヒ、バーゼル各歌劇場等国内外で活躍、『フィガロの結婚』のスザンナ、『魔笛』のパミーナ、『リゴレット』のジルダ、『椿姫』のヴィオレッタ、『エレクトラ』クリソテミスなど抒情的な役からドラマティックな役まで、幅広い役柄を演じている。歌曲やコンサートの分野でも積極的に活動を行っており、マカス・クリード、ジョン・エリオット・ガーディナー、フィリップ・ジョルダン、キリル・ペトレンコからは自身の音楽キャリアの形成において大きな影響を受けた。またルース・ベルクハウス、アンドレアス・ホモキ、ハンス・ノイエンフェルスら著名演出家の演出作品にも度々出演している。このほか国際的なマスタークラスやオペラ・スタジオで講師を務めるほか、国際会議でも講演を行っている。2020年よりニュルンベルク音楽大学教授。ドイツ歌唱教師連盟会長。



小堀 勇介

テノール Tenor: Yusuke Kobori

国立音楽大学および同大学院首席修了。第88回日本音楽コンクール第1位をはじめ、国内主要コンクールで数々の賞を受賞。2016年、文化庁新進芸術家海外研修員として渡伊。ペーザロでのアカデミア・ロッシニアナ2016、カナダ・ルーネンバーグでのロッシニ・オペラ・アカデミー2016に参加。その後、チロル祝祭歌劇場「アルジェのイタリア女」リンドーロで欧州デビューを果たした。帰国後は、びわ湖ホール「連隊の娘」トニオ、日生劇場「愛の妙薬」ネモリーノ、「セビリアの理髪師」アルマヴィーヴァ伯爵など、ベルカント・オペラを中心に活躍。さらに「第九」や宗教曲などオーケストラ作品のソリストとしても高い評価を得ている。近年は、日生劇場「連隊の娘」トニオ、ソニックシティ新作オペラ「平家物語—平清盛—」源義朝、神奈川県民ホール「羊飼いの王様」アレックスサンドロ大王、読売日本交響楽団「夕鶴」与ひょうなどを好演。2026年には藤沢市民会館「ランスへの旅」リーベンスコフ伯爵に出演し、その卓越した歌唱と表現力で好評を博した。今後は、日生劇場「ドン・ジョヴァンニ」ドン・オッターヴィオ、神奈川県民ホール「絹のはしご」ドルヴィルなどに出演を予定している。



藤木 大地

カウンターテナー Countertenor: Daichi Fujiki

2017年、オペラの殿堂・ウィーン国立歌劇場にライマン「メディア」ヘロルドで鮮烈にデビュー。東洋人のカウンターテナーとして初めての快挙で、大きなニュースとなる。2012年、第31回国際ハンス・ガボア・ベルヴェデーレ音楽コンクールにてハンス・ガボア賞を受賞。同年、日本音楽コンクール第1位。2013年、ボローニャ歌劇場にてグルック「クレーリアの勝利」マンニオでヨーロッパデビュー。国内では、主要オーケストラとの公演や各地でのリサイタルがいくつも絶賛を博している。近年では、アメリカ2都市やシンガポールでのリサイタル、マカオ管弦楽団「マタイ受難曲」、調布国際音楽祭2025 ヘンデル「ロドリング」ペルタリード、新国立劇場J.シュトラウスⅡ世「こうもり」オルロフスキーなど世界各地での演奏活動、全曲を無伴奏で収録した2枚のアルバム「A cappella」のリリリースと5都市ツアー、プロスポーツイベントでのセレモニー歌唱など、トップランナーと称されるにふさわしい唯一無二の活躍を続ける、日本が世界に誇る国際的なアーティストのひとりである。京都市立芸術大学専任講師 (2026-)、横浜みなとみらいホール 初代プロデューサー (2021-2023)、洗足学園音楽大学客員教授 (2020-)。Official Website: www.daichifujiki.com



池内 響

バリトン Baritone: Hibiki Ikeuchi

東京藝術大学卒業。同大学院修了後に渡伊し、ミラノにて研鑽を積み。第56回ヴェルディの声国際コンクール入選、第10回サルヴァトーレ・リチートラ声楽コンクールなどで優勝。また、第20回東京音楽コンクール第1位および聴衆賞を受賞。2015年、日生劇場「ドン・ジョヴァンニ」タイトルロールでオペラデビュー。以後、びわ湖ホール「ばらの騎士」ファエニナル、日生劇場・全国共同制作オペラ「ラ・ボエーム」マルチェッロなどに出演。近年も、NHKニューイヤーオペラコンサートをはじめ、びわ湖ホール「死の都」フランク、日本フィル「仮面舞踏会」レナート、ソニックシティ新作オペラ「平家物語—平清盛—」題名役、全国共同制作オペラ「愛の妙薬」ベルコーレなどを演じ、その豊かな響きと確かな表現力で高い評価を得ている。また、「第九」や「メサイア」などのコンサートソリストとしても活躍。今後は、日生劇場「ドン・ジョヴァンニ」で2度目のタイトルロールを務めるほか、びわ湖ホールでも「ドン・ジョヴァンニ」タイトルロール、フェニーチェ堺「魔女の宅急便」とんぼなどに出演予定。第37回姫路市芸術文化奨励賞、第25回坂井時忠音楽賞、2020年兵庫県芸術奨励賞受賞。



京響コーラス

合唱 Chorus: Kyoto Symphony Chorus

1995年秋、京都コンサートホールが完成した当時の京響音楽監督・常任指揮者・井上道義の提唱で「京響第九合唱団」として結成。その後「京響市民合唱団」と改名し、2012年からはさらに音楽的な高みをめざして、京響の自主演奏会を軸にオーケストラ合唱作品に取り組む「京響コーラス」と名称を変更、創立者の井上道義を創立カペルマイスター、当時の京響常任指揮者広上淳一をスーパーヴァイザーに迎えて新たにスタートした。現在、約130名の団員で構成されており、毎週月曜日の夜を中心に京響練習場・京都市内文化会館等で練習を行っている。

京都市交響楽団

City of Kyoto Symphony Orchestra

1956年、京都市が「京都の新たな文化財」として構想し、創立。日本で唯一、自治体が設置・運営に責任を持つ。(身近な存在として、市民に愛され誇りとされる)〈文化芸術都市・京都の象徴となる〉オーケストラを目指している。京都コンサートホールでの定期演奏会をはじめ、小中学生対象の音楽鑑賞公演、0歳から楽しめる演奏会、アウトリーチ活動、若い人達への楽器講習会など多彩な活動を行っている。近年は小林研一郎、井上道義、大友直人、広上淳一らが常任指揮者を務め、2023年沖澤のどかが第14代常任指揮者に就任。2024年ヤン・ヴィレム・デ・フリーントを首席客演指揮者に迎え、演奏の一層の充実を図っている。2026年は創立70周年を迎え、〈世界に向けて最高の音楽を発信し続ける〉オーケストラとしてさらなる発展を目指す。



©井上弓典事務所 井上喜樹